



発行 社会福祉法人和敬会倶楽部
ふくろうの杜 広報委員会
所在地 中津川市苗木4002番地
電話 0573-62-1250
FAX 0573-62-1253
ホームページ <http://fukurounomori.jp/>



家族会が新体制となりました！

5月9日(土)の午後、入居者家族会総会が開催されました。令和7年度の収支決算報告や予算案などの承認のあと、介護、看護、管理栄養、生活相談員それぞれより、ふくろうの杜のケアについて説明を行い、ご理解をいただきました。

また、コロナ感染症が出る前からの長い期間において会長副会長を務めてくださいました田口氏と今井氏が役を降りられ新たに会長を瀬瀬氏、副会長を小川氏に各々の役を担っていただくこととなりました。

前会長副会長には、行事関係にとどまらず多くのお力添えをいただき心より感謝申し上げます。

新体制となった家族会の皆様により、入居者様、家族様が楽しく交流できる機会を新たな発想で盛り上げてくださることを期待しています。



ふくろうのささやき

各局のニュースでは毎日のように適切な温度管理と水分補給を促す報道が繰り返されています。猛暑日や熱帯夜の増加、突然の豪雨や雷雨など、気候変動は遠い未来の話ではなく、私たちが暮らす健康に直接影響を及ぼす身近な課題となりました。とりわけ高齢者にとっては、気温や湿度の変化が体調を左右するため、これまで以上の細やかな見守りが必要です。ふくろうの杜では入居の方や通所の方々が安心して元気に過ごせるように室温や湿度の管理、水分補給、体調確認を徹底しています。

今年二月からは三年越しの計画でようやく完成した太陽光発電が本格的に稼働しています。天候に恵まれた日には施設で使用する電力のおよそ七割、平均で五割弱を太陽の恵みで賄うことができるようになりました。環境への負荷を減らしながらも持続可能な施設運営を目指す取り組みは、子どもたちや地域の未来を守ることにもつながると考えています。

ふくろうの杜は人を支える場所であると同時に地域や未来を支える存在でもあります。考え、環境に配慮した取り組みを重ねることも次世代へ豊かな暮らしをつないでいく大切な役割です。自然への感謝と人への思いやりを胸に安心して笑顔で過ごせる施設作りに努めてまいります。

管理栄養士のしおり

暑さに負けない体づくり

夏野菜は水分とカリウムが多く含み、汗で失われやすいミネラルを補給しながら体温調整を助けてくれます。カリウムはナトリウムの排泄を促し、むくみやだるさの軽減に効果的です。また、酸化作用のある成分が紫外線による細胞の酸化や老化を防ぐ手助けを担います。

生のままや油での調理、皮ごと活用するなど、栄養素によって異なる「効率よく必要な栄養を摂取する調理法」を活用して夏バテしにくい体を作り、疲労回復を促しましょう。



ご寄付を有難うございます

物故者 ご遺族様 一名
家族OB会の方々よりタオル等
施設運営など、有意義に使わせて頂きます。
心より感謝申し上げます。

編集後記

ふくろうの杜は、二十二回目の夏を迎えました。開設当時の施設前の市道は全線二車線化されておらず、今ほどの交通量はありませんでした。七月初旬になると日没後、周りの水田では蛍の光を楽しみむことができました。仕事の帰り際に蛍を見つめ、入居者様と眺めて、蛍にまつわる思い出話を聞かせていただいたものでした。

当施設の名称の由来は、この地区の森にふくろうが棲んでいたことや縁起の良さからですが、二十一年在勤している私も、一度だけ勤務終わりに駐車場外灯に飛来したふくろうを見たことがあります。大きく両翼を広げた姿にしばらく見惚れたほどでした。

そんな自然いっぱいふくろうの杜ですが、求められる時代や環境は変わりつつあります。時代のニーズに合わせたサービスを提供することで入居者様、利用者様、ご家族様、地域の方々と共に、寄り添う心を未来に繋げて行けたらと願っています。

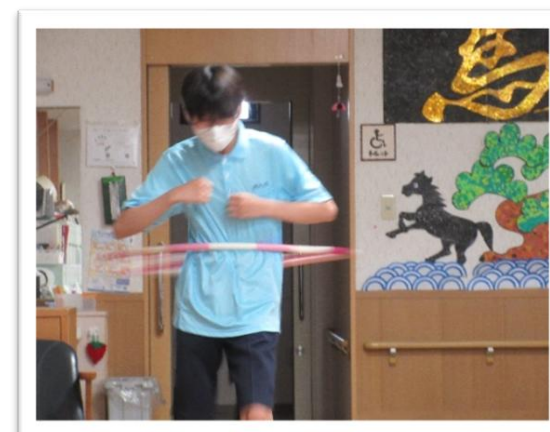
T・Y



特養の七夕



デイサービス南館



デイサービス南では毎年、坂下高校福祉科1年生の介護実習を受け入れています。

今年の実習生はとても心穏やかな優しい生徒さんでしたが、利用者様に楽しんでいただこうと特技のフラフープを堂々と披露し拍手喝采を浴びました。ふくろうの杜は開設2年目から多くの坂下高校福祉科生徒の介護実習を受け入れてきました。在職職員の中にもふくろうの杜のデイサービスや特別養護老人ホームで実習を行った多くの福祉科OB、OGが活躍しています。

キッズルーム

作ることって楽しいな

作ることが大好きな子ども達。ひとりのお友達が保育士と何か作っているとみんな集まってきます。

お散歩で見かける親しみのあるかえるや、七夕飾りを作りました。シールで顔を貼ったり、画用紙にクーピーで自由に描いた物を織姫、彦星の着物にしたりしました。

出来上がった作品を玄関に飾ると、子ども達は「かわい～♡」と嬉しそうです。七夕当日には、笹に飾って持ち帰りました。みんなの願いが叶いますように。

